

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 栄養専門課程 管理栄養科〕

| 科目名 | 実務経験の授業への活用方法 | 科目責任者 | 科目担当者 (※は実務経験有) | 開講 学年 | 通年 前期 後期 | 単位数 | 時間数 | 必修・ 選択等 | 科目 区分 |
|-------------|---|-------|--------------------|----------|----------------|------|-------|------------|----------|
| 1 コンピュータ入門 | SEとしてシステムを組んでいた経験を活かし、実際のシステムでの応用例なども含め、コンピュータの活用を教えることができる。 | 秋葉 広人 | 秋葉 広人 ※ | 1 | 前期 | 1 単位 | 45 時間 | 必修 | 実習 |
| 2 情報科学実習 | SEとしてシステムを組んでいた経験を活かし、実際のシステムでの応用例なども含め、コンピュータの活用を教えることができる。 | 秋葉 広人 | 秋葉 広人 ※ | 1 | 後期 | 1 単位 | 45 時間 | 必修 | 実習 |
| 3 人体構造機能学実習 | 企業および研究所での研究経験を踏まえ、研究の意義及び応用方法がどのように展開されるのかを概説する。 | 保住建太郎 | 保住建太郎 ※ | 2 | 後期 | 1 単位 | 45 時間 | 必修 | 実習 |
| 4 生化学演習 | 企業および研究所での研究経験を踏まえ、研究の意義及び応用方法がどのように展開されるのかを概説する。 | 保住建太郎 | 保住建太郎 ※ | 4 | 前期 | 1 単位 | 45 時間 | 必修 | 演習 |
| 5 基礎調理学実習 | 給食施設における給食の運営、栄養管理の経験を踏まえ、学習内容が実践にどのように活かされるかを随時授業に取り入れる。 | 小林 奈穂 | 小林 奈穂 ※ | 1 | 後期 | 1 単位 | 45 時間 | 必修 | 実習 |
| 6 応用調理学実習 | 給食施設における給食の運営、栄養管理の経験を踏まえ、学習内容が実践にどのように活かされるかを随時授業に取り入れる。 | 小林 奈穂 | 小林 奈穂 ※ | 2 | 前期 | 1 単位 | 45 時間 | 必修 | 実習 |
| 7 応用栄養学Ⅲ | 管理栄養士としての栄養指導経験を踏まえ、実際運動時の栄養補給についての注意点などを含めて、特殊環境下および運動時の栄養に対する注意点を教える。 | 山中千恵美 | 山中千恵美 ※ | 3 | 前期 | 2 単位 | 30 時間 | 必修 | 講義 |
| 8 栄養教育論Ⅰ | 病院・学校・企業での栄養指導経験を踏まえ、カウンセリングやヘルスプロモーションの基礎理論と実践方法について教える。 | 入江 由紀 | 入江 由紀 ※ | 2 | 前期 | 2 単位 | 30 時間 | 必修 | 講義 |
| 9 栄養教育論Ⅱ | 病院・学校・企業での栄養指導経験を踏まえ、カウンセリングやヘルスプロモーションの基礎理論と実践方法について教える。 | 入江 由紀 | 入江 由紀 ※ | 2 | 後期 | 2 単位 | 30 時間 | 必修 | 講義 |
| 10 栄養教育論実習 | 国際協力プロジェクト運営経験を踏まえ、学生自身が集団栄養プログラムを立案・実施・評価する過程において、より実践力を向上できるようサポートする。 | 入江 由紀 | 入江 由紀 ※ | 3 | 前期 | 1 単位 | 45 時間 | 必修 | 実習 |
| 11 栄養教育特論 | 病院での栄養指導経験を踏まえ、学生が臨地実習先で学んできた内容をさらに定着させられるよう、理論と技術を向上させる。 | 入江 由紀 | 入江 由紀 ※ | 3 | 後期 | 1 単位 | 15 時間 | 必修 | 講義 |
| 12 栄養教育演習 | 病院・学校・企業での栄養指導経験を踏まえ、カウンセリングやヘルスプロモーションの基礎理論と応用法について教える。 | 入江 由紀 | 入江 由紀 ※ | 4 | 後期 | 1 単位 | 30 時間 | 必修 | 演習 |
| 13 臨床栄養学Ⅰ | 病院での臨床経験に触れながら、臨床栄養学で学んだ内容を臓器別、疾患別にまとめていく。 | 大友 崇 | 大友 崇 ※ | 2 | 前期 | 2 単位 | 30 時間 | 必修 | 講義 |

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 栄養専門課程 管理栄養科〕

| 科目名 | 実務経験の授業への活用方法 | 科目責任者 | 科目担当者 (※は実務経験有) | 開講 学年 | 通年 前期 後期 | 単位数 | 時間数 | 必修・ 選択等 | 科目 区分 |
|-------------|---|-------|---|----------|----------------|------|-------|------------|----------|
| 14 臨床栄養学Ⅱ | 病院での臨床経験に触れながら、臨床栄養学で学んだ内容を臓器別、疾患別にまとめていく。 | 大友 崇 | 大友 崇 ※ | 2 | 後期 | 2 単位 | 30 時間 | 必修 | 講義 |
| 15 臨床栄養学Ⅲ | 病院での臨床経験に触れながら、臨床栄養学で学んだ内容を臓器別、疾患別にまとめていく。 | 大友 崇 | 大友 崇 ※ | 3 | 前期 | 2 単位 | 30 時間 | 必修 | 講義 |
| 16 臨床栄養学Ⅳ | 病院での臨床経験に触れながら、臨床栄養学で学んだ内容を臓器別、疾患別にまとめていく。 | 大友 崇 | 大友 崇 ※ | 3 | 前期 | 2 単位 | 30 時間 | 必修 | 講義 |
| 17 臨床栄養学演習Ⅰ | 現在医療の現場で活躍している北里大学関連病院の管理栄養士が、現状を踏まえて実際の栄養管理について疾患別に概説する。 | 大友 崇 | 大友 崇 ※ 佐藤 照子 ※ 人見麻美子 ※ 太田 裕子 ※ 宮沢 靖 ※ 宮原 陽子 ※ 宮永美佐子 ※ | 4 | 前期 | 1 単位 | 30 時間 | 必修 | 演習 |
| 18 臨床栄養学演習Ⅱ | 病院での臨床経験に触れながら、臨床栄養学で学んだ内容を臓器別、疾患別にまとめていく。 | 大友 崇 | 大友 崇 ※ 今井 浩孝 | 4 | 後期 | 1 単位 | 30 時間 | 必修 | 演習 |
| 19 臨床栄養学実習 | 病院での臨床経験を織り交ぜながら、症例を用いてアセスメント、プランニング、モニタリング等の医療現場での流れを体験する。 | 大友 崇 | 大友 崇 ※ 外山 竹弥 ※ | 3 | 前期 | 1 単位 | 45 時間 | 必修 | 実習 |
| 20 栄養補給法実習 | 福祉施設における経験を踏まえ、適切な栄養補給法の選択及び食事提供を通しての栄養ケアを概説する。 | 柄澤 美佳 | 柄澤 美佳 ※ | 3 | 前期 | 1 単位 | 45 時間 | 必修 | 実習 |
| 21 公衆栄養学Ⅰ | 新潟県(病院、保健所等)での現場経験を踏まえ、地域・職域等における公衆栄養活動についてどのように展開されるのかを概説する。 | 真島 和徳 | 真島 和徳 ※ | 2 | 後期 | 2 単位 | 30 時間 | 必修 | 講義 |
| 22 公衆栄養学Ⅱ | 新潟県(病院、保健所等)での現場経験を踏まえ、地域・職域等における公衆栄養活動についてどのように展開されるのかを概説する。 | 真島 和徳 | 真島 和徳 ※ | 3 | 前期 | 2 単位 | 30 時間 | 必修 | 講義 |
| 23 公衆栄養学実習 | 新潟県(病院、保健所等)での現場経験を踏まえ、地域・職域等における公衆栄養活動についてどのように展開されるのかを概説する。 | 真島 和徳 | 真島 和徳 ※ | 3 | 前期 | 1 単位 | 45 時間 | 必修 | 実習 |
| 24 公衆栄養学演習 | 新潟県(病院、保健所等)での現場経験を踏まえ、地域・職域等における公衆栄養活動についてどのように展開されるのかを概説する。 | 真島 和徳 | 真島 和徳 ※ | 4 | 後期 | 1 単位 | 30 時間 | 必修 | 演習 |
| 25 給食経営管理論Ⅰ | 給食施設における給食の運営、栄養管理の経験を踏まえ、学習内容が実践にどのように活かされるかを随時授業に取り入れる。 | 小林 奈穂 | 小林 奈穂 ※ | 1 | 後期 | 2 単位 | 30 時間 | 必修 | 講義 |

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 栄養専門課程 管理栄養科〕

| 科目名 | 実務経験の授業への活用方法 | 科目責任者 | 科目担当者 (※は実務経験有) | 開講 学年 | 通年 前期 後期 | 単位数 | 時間数 | 必修・ 選択等 | 科目 区分 |
|--------------|--|-------|--------------------|----------|----------------|-------|---------|------------|----------|
| 26 給食経営管理論Ⅱ | 給食施設における給食の運営、栄養管理、商品開発の経験を踏まえ、学習内容が実践にどのように活かされるかを随時授業に取り入れる。 | 小林 奈穂 | 小林 奈穂 ※ | 2 | 前期 | 2 単位 | 30 時間 | 必修 | 講義 |
| 27 給食経営管理論実習 | 福祉施設における経験を踏まえ、適切な栄養補給法の選択及び食事提供を通しての栄養ケアを概説する。 | 柄澤 美佳 | 柄澤 美佳 ※ | 2 | 後期 | 2 単位 | 90 時間 | 必修 | 実習 |
| 28 給食経営管理演習 | 給食施設における給食の運営、栄養管理、商品開発の経験を踏まえ、学習内容が実践にどのように活かされるかを随時授業に取り入れる。 | 小林 奈穂 | 小林 奈穂 ※ | 4 | 後期 | 1 単位 | 30 時間 | 必修 | 演習 |
| 29 経済学 | 税理士としての税務、会計指導の経験を踏まえ、社会生活において経済の知識がどのように役立つかを理解できるよう指導する。 | 市村二三代 | 市村二三代 ※ | 4 | 前期 | 2 単位 | 30 時間 | 必修 | 講義 |
| 合計 | | | | | | 42 単位 | 1065 時間 | | |

行は適宜追加してください。
シラバスの関連項目と記載を一致させてください。